

松阪市総合計画中間案へのパブリックコメントの意見と回答

No.	頁	大項目	小項目	意 見	回 答	担当課
1		全般		資料では、政策・施策とSDGsの17のゴールとの関連を表す表記がないが、現在の総合計画にあるSDGsと政策・施策の関連を示す表などを最終版で掲載の予定はあるか。	ご指摘のとおり、中間案においては政策・施策とSDGsとの関連を表す表記はありませんが、今後参考資料と言う形ではございますが、政策・施策とSDGsとの関連を示す表をつけさせていただく予定をしています。	経営企画課
2	P5	序論	歴史と文化	下から2行目「16万人余り」とあるが、人口は16万人を切っているのに「16万人ほど」などと改めてはどうか。	ご指摘のとおり、直近の令和2年国勢調査においても16万人を下回っておりますため、表記を修正させていただきます。	経営企画課
3	P22	基本構想	7つの政策	「1. 輝く子どもたち」の最下行で、「また子どもたちが”ここに住み続けたい”」というところを、「子どもたちに”ここに住み続けたい”」と改めてはどうか。	現状では文章の意味が分かりにくいため、ご指摘に沿って表記を修正させていただきます。	経営企画課
4	P22	基本構想	7つの政策	「2. いつまでもいきいきと」の3行目で、「～移行となり、あらためて新興感染症対策をみなおすこと、また～」を「～移行に伴い、あらためて新興感染症対策をみなおします。また～」と改めてはどうか。	現状では文章の意味が分かりにくいため、ご指摘に沿って表記を修正させていただきます。	経営企画課
5	P24	基本構想	7つの政策	「7. 市民に寄り添う市役所」の4行目で、サービスデザインやEBPMに注釈をいれるならナッジの手法にも注釈が必要ではないか。	ご指摘のとおりと思います。最終的には用語集もつけさせていただく予定ですので、そちらとの兼ね合いも加味しながら注釈を入れさせていただきます。	経営企画課
6	P24	基本構想	7つの政策	「3 横断的な取り組み」で、若者定住・福祉社会の実現 若者定住についての説明はあるが、福祉社会についての説明が必要ではないか。	ご指摘のとおり、福祉社会についてより明確になるよう表記の追記もしくは修正をさせていただきます。	経営企画課
7	P25	基本構想	7つの政策	「4 変化する社会情勢への対応」の2段落目で再定義の内容をもう少し分かりやすい記載に変更してはどうか。	ご指摘のとおり、再定義についてより明確になるよう表記の追記もしくは修正をさせていただきます。	経営企画課
8	全般	基本計画		各ページの数値目標について、現状（年度）という表記があり、例えば「～（R5）」という記載は、令和5年度の数値と分かるのですが、何もない場合は何年度の数値になるのか。基本的には令和6年度の数値と考えればよいか。	数値目標の（年度）について、中間案では明確でなく、表記のぶれがありますので、統一させていただきます。なお、現状年度は特に記載がなければ基本的には令和5年度の実績となります。	経営企画課
9	P28	基本計画		今回の総合計画では、施策の統合をしているが、「市民活動の推進」には図書館や公民館に関することも含まれているので、「社会教育」も含めた施策名へ変更した方が良いのではないか。	ご指摘のとおり、今回の中間案の施策「市民活動の推進」は、以前の施策「社会教育の推進」も含めたものとなっております。そのため図書館や公民館活動についても含まれるような、施策名の表記への変更を検討させていただきます。	経営企画課

No.	頁	大項目	小項目	意 見	回 答	担当課
10	P32	1輝くこどもたち	①こども・子育て支援の推進	「現状」の1つ目の項で、「～経済的負担感の高まりとこどもの貧困問題など～」を「～経済的負担感の高まりやこどもの貧困問題など～」に改めてはどうか。	ご指摘のとおり、表記を修正させていただきます。	こども家庭センター
11	P32	1輝くこどもたち	①こども・子育て支援の推進	「現状」の1つ目の項で、「～社会問題が発生しています。」について、こども貧困問題は物価高騰と関係なく生じていた課題であるため、「発生」より「増加」や「深刻化」などが現状に近いのではないか。	ご指摘のとおりと思います。「～社会問題が増加しています。」と表記を修正させていただきます。	こども家庭センター
12	P32	1輝くこどもたち	①こども・子育て支援の推進	「現状」の2つ目の項で、「～児童虐待等の相談が多く寄せられています。」について、「多く寄せられている」より、「相談数が増加している。」等、増加傾向にある現状を知ってもらうほうが良いのではないか。	ご指摘のとおり、「～相談数が増加しています。」と表記を修正させていただきます。	こども家庭センター
13	P32	1輝くこどもたち	①こども・子育て支援の推進	「課題」の2つ目の項に「ヤングケアラー」のことが触れられているが、「現状」に触れられていないので記載したほうが良いのではないか。	「現状」2つめを「児童虐待に関する社会の関心の高まりや家族形態、家庭環境の変化などから児童虐待等の相談が増加しています。また、関係者が把握していないヤングケアラーが潜在している可能性もあり、実態把握を進めていく必要があります。」と表記を修正させていただきます。	こども家庭センター
14	P32	1輝くこどもたち	①こども・子育て支援の推進	「1-①こども・子育て支援の推進」の現状、4つ目の項で、「発達に心配があるこどもを見守る機関の専門性が増し、ニーズも多様化しています」とあるが、専門性が増したのではなく、「こどもを見守る専門的な機関の必要性が増した」のではないか。または、専門性が増したのであれば「ニーズが多様化したので専門性が増しています」とすべきではないか。	ご指摘のとおりと思います。「発達に心配があるこどもに関する相談内容が多様化しており、こどもを見守る機関の専門性が増しています。」と表記を修正させていただきます。	こども発達総合支援センター
15	P32	1輝くこどもたち	①こども・子育て支援の推進	今からでは困難とは思いますが、こども・子育て支援の推進に含まれている内容が多すぎるので、こども・子育て“応援”の推進とこども・子育て“支援”の推進（ヤングケアラーや不適切な養育をしている児童の支援）と分けることも一考してはどうか。	こどもと子育てを総合的に支える考えのもとに、“応援”と“支援”の両方のアプローチを推進し、切れ目ない支援の充実を図ります。	こども家庭センター
16	P33	1輝くこどもたち	①こども・子育て支援の推進	数値目標「児童虐待による死亡等重篤事例件数」は偶発的に発生するものなので、「相談対応の割合」「安否確認までの日数」などの別の指標を検討してはどうか。なお、「虫歯のない児童生徒の割合」なども、貧困家庭と虫歯には相関関係がかなりあるため、こども・子育て支援の推進の数値目標とできるのではないか。	児童虐待による死亡等重篤事例発生未然防止を目標としているため、本数値目標を使用したいと思います。ご意見をいただきました「むし歯のないこどもの割合」については、第2次歯と口腔の健康づくり基本計画に掲げる数値目標にあり、歯科健康診査や歯科治療時にネグレクト等の児童虐待早期発見の視点を持ち園・学校及び歯科医師等と連携しています。今後も児童に関する相談に対して、関係機関と連携のもと迅速に対応するよう取り組んでまいります。	こども家庭センター

No.	頁	大項目	小項目	意 見	回 答	担当課
17	P36	1輝くこどもたち	②未就学児への支援	「現状」の4つ目の項で、老朽化と少子化が並列かと思うが、原文だと少しわかりにくい気がする。「保育園・こども園・幼稚園施設の老朽化や、少子化に対応する施設の整備、再編・統廃合が必要となっています。」を「保育園・こども園・幼稚園の老朽化や少子化に対応するために、施設の整備、再編・統廃合が必要となっています。」としてはどうか。	ご指摘のとおり表記を修正させていただきます。	こども未来課
18	P36	1輝くこどもたち	②未就学児への支援	「課題・改良点」の4つ目の項で、「保育園・こども園・幼稚園施設の再編・統廃合を行う必要があります。」というところで、「再編・統廃合」だけでなく「整備」を記載しなくてよいでしょうか。	ご指摘のとおり「保育園・こども園・幼稚園施設の整備、再編・統廃合を行う必要があります。」に表記を修正させていただきます。	こども未来課
19	P38	1輝くこどもたち	③学校教育の充実	「公民連携の推進」の1つ目の項で、「献立における非常時の食品を提供します」とありますが、どのような理由で公民連携となるのでしょうか。解りやすい表現に変更をした方がいいのではないのでしょうか。	給食で非常時用として活用できそうなパックご飯などの提供を想定しているものです。分かり易い表現に修正を行います。「災害や緊急時を想定した献立に非常時用に提供される食品の活用を図ります」	給食管理課
20	P38	1輝くこどもたち	③学校教育の充実	数値目標について。全国学力・学習状況調査で全教科を全国平均に到達させるという目標にすべきではないか。	貴重なご意見ありがとうございます。これからの変化の激しい社会で困難に立ち向かうためには、個性を発揮し、主体的・創造的に生き、未来を切り拓く力が求められています。本市では、「主体的に判断できる力」「多様な人々と協働していくことができる力」「新たな価値を創造する力、新たな問題を発見・解決できる力」を「未来を切り拓く力」として、その育成をめざしています。全国学力・学習状況調査により測定できるのは、学力の特定の一部であるため、本市では、単に教科に関する調査の数値のみではなく、質問調査も含めて成果や課題、改善策等、詳細分析を合わせて公表しています。今回の数値目標については、「未来を切り拓く力」と大きな相関関係のある非認知能力の定着の現状を指標として設定しています。	学校支援課
21	P42	2いつまでもいきいきと	①健康づくりの推進	「現状」の2つ目の項で、「約5割の人が、がん検診を受けています。」とあるが、課題感があるのであれば、「受けていません。」と記載してはどうか。前回は2割、今回は5割なので、伸びていることを重視するならそのことを記載しても良いと思う。例「がん検診の受診率はこの4年間で2割から5割に増えてましたが、いまだに半数の人は検診を受けていません。」など。	前回の2割は、市のがん検診の受診率のみを取り上げていました。市のがん検診受診率は、現在も約2割のままとなっています。ご指摘いただきましたように、「健康づくりアンケートによると、がん検診の受診率は約5割で、半数の人ががん検診を受けていない状況です。」とします。	健康づくり課
22	P42	2いつまでもいきいきと	①健康づくりの推進	「現状」と「主な取組」にがん検診についての記載があるので、「課題・改良点」にも記載が必要ではないでしょうか。	課題として、「がん検診等の、受診率向上の取組が必要です」を追記します。	健康づくり課
23	P50	2いつまでもいきいきと	⑤障がい福祉の推進	「主な取組」で、障がい者に対して市独自の現金給付制度をつくるような記載をしていただきたい。	ご意見については今後の参考にさせていただきます。	障がい福祉課

No.	頁	大項目	小項目	意 見	回 答	担当課
24	P60	3活力ある産業	④企業誘致・連携の推進	企業誘致はメリットが多いため、新しい企業用地を整備するという記載が必要ではないか。	「産業用地の整備を進めるとともに」を削除し、ご指摘のとおり、「新たな産業用地の候補地を検討し、整備に向け取り組みます。」と表記を修正させていただきます。	企業誘致連携課
25	P64	3活力ある産業	⑥松阪牛・地域ブランドの振興	数値目標について。ふるさと応援寄付金の目標額が少ないのではないか。	令和5年度の寄附額は前年度比で約2億円上回り17億円となりましたが、現計画の目標である20億円を達成していない状況です。更なる寄附者獲得に向けては、返礼品の拡充やPR等により松阪市の魅力発信しており、まずは今年度（令和6年度）20億円を達成することを念頭に置いた目標数値としております。	地域ブランド課
26	P66	3活力ある産業	⑦雇用・勤労者福祉の充実	「雇用・勤労者福祉の充実」という施策だが、勤労者福祉について、主な取組に触れられていないのではないか。	主な取組に「勤労者福祉充実のため市内の福利厚生実施事業者への支援に取り組みます。」を追記します。	商工政策課
27	P74	4人も地域も頑張る力	③文化の振興	「松阪市文化芸術振興ビジョン」を策定するという記載が必要ではないか。	本施策につきましては、松阪市文化芸術の振興に関する基本方針、松阪市教育ビジョン及び松阪市観光振興ビジョンを踏まえ、文化芸術基本法及び三重県文化振興条例等との整合も図りながら実施いたします。「松阪市文化芸術振興ビジョン」を策定する予定はありませんので、本計画には記載しておりません。	文化課
28	P74	4人も地域も頑張る力	③文化の振興	「松阪市の文化財案内」の更新、「松阪市史」の出版の記載が必要ではないか。	いただいたご意見は、本施策の方向性と矛盾するものではないと考えますが、総合計画の性格上、個別事業の記載はしておりません。	文化課
29	P74	4人も地域も頑張る力	③文化の振興	「松阪学検定制度」の創設を記載してはどうか。	ご意見の「松阪学検定制度」がどのようなものを指すのかが明らかではございませんが、観光誘客の観点からご回答いたします。松阪市の文化や歴史などをクイズ形式に整理し「松阪検定」と題して観光PRを実施した実績はございますが、これをシリーズ化や制度化して実施することは検討していないため、記載はいたしておりません。	観光交流課
30	P80	5安全・安心な生活	①交通安全対策の充実	歩きスマホ禁止条例を施行するという必要がある。記載が必要ではないか。	歩きスマホの禁止については、三重県交通安全条例に規定されてございますので、松阪市として条例を制定する考えはございません。交通ルールの遵守と交通マナーの向上を推進する啓発活動に努めて参ります。	地域安全対策課

No.	頁	大項目	小項目	意 見	回 答	担当課
31	P82	5安全・安心な生活	③防災・危機管理対策の充実	松阪市は非核平和都市宣言をしているので、安全安心な生活などに記載すべきではないか。	都市宣言については、地方自治体が重要な政策課題などについて、主張や方針を明らかにするものです。ご指摘をいただいた、「非核平和都市宣言」については、平成17年12月22日に告示したもので、以降本市が掲げているもので、特に期限のあるものではありません。また本市には他に5つの都市宣言を行っております。一方総合計画は松阪市が4年間の取組や、10年先にめざすべき姿を記載する中期計画であります。本市の大きな方向性は都市宣言に沿うものであることは間違いありませんが、総合計画の主旨とは異なると考えておりますので、記載はいたしていません。	経営企画課
32	P92	6快適な生活	②資源循環型社会の推進	「主な取組」に、バイオマス発電や太陽光発電などさらに再生可能エネルギーの活用を図ることを記載すべきではないか。	ご指摘のとおり、再生可能エネルギーの活用を図ることを記載すべきことから、再生可能エネルギーの活用促進を図るため、住宅や工場等への太陽光発電、蓄電池等の導入拡大を支援する旨を追記いたします。	環境課
33	P104	7市民に寄り添う市役所	①行政サービスの充実	人口減少のなか、生成AIを利用するなど、行政業務効率化を行う記載が必要ではないか。	ご意見ありがとうございます。人口減少社会における様々な課題が予想される中、新しいデジタル技術を活用した行政業務の効率化は重要な視点です。既にチャットGPT、AI問診（市民病院）などを導入し活用していますが、日々刻々と進歩するデジタル技術に対する主な取組を掲載するまでには至っていません。基本構想には「DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進」を掲げ、新しい技術の導入はその効果を検討しつつ、積極的に進めてまいります。	市政改革課
34	P104	7市民に寄り添う市役所	①行政サービスの充実	デジタル化により行政・市民の利便性が向上するのは有難いが、災害で電力が使えなくなったとき、デジタル行政は機能するのかという疑問がある。デジタル社会を推進することについては理解するが、突発的な事態に柔軟に対応できる松阪市であってほしい。	ご指摘のように行政サービスの提供手段をひとつの方法に限定した場合には、突発的な事態に対応できなくなることが懸念されます。そのため、アナログとデジタルの手続きを選べるようしたり、また災害時のために電力・ネットワーク・システムの代替手段を設けたりするなど、柔軟な対応を目指してまいります。	防災対策課
35	P104	7市民に寄り添う市役所	①行政サービスの充実	市役所の窓口の対応が親切になったと感じる。今回の計画では、「市民のための市役所」から「市民に寄り添う市役所」へ変更となり、優しく市民主体と感じられる表現になったのではないかと感じるが、変更した理由があれば教えて欲しい。	ご指摘のとおり、これまでの施策名は「市民のための市役所」としており、中間案においては「市民に寄り添う市役所」とさせていただいております。これは、市民が主体であり、その主体である市民のみなさまに対して行政側から近づいていくことをより明確にするため変更をさせていただいたものです。	経営企画課
36	P104	7市民に寄り添う市役所	①行政サービスの充実	今後は、高齢者こそスマートフォンやインターネットを活用したり、それらを使って情報を得ることが今まで以上に大切になると思うが、その取組についての記載はあるか。	今回の中間案には記載されていませんが、ご指摘のとおり、高齢者をはじめ、広く普及させていく取組を考えて進めていきます。	広報広聴課

No.	頁	大項目	小項目	意 見	回 答	担当課
37	P105	7市民に寄り添う市役所	①行政サービスの充実	「横断的取組」に、「市内コンビニと行政ネットワーク機能…」と記載があるが、現在も「市外のコンビニ」でも証明等の発行が出来ると思う。この記載だと「市内コンビニ」しか証明等の発行が出来ない様に読み取れるのではないか。	ご指摘のとおり市外コンビニでも証明書交付はできますので、訂正いたします。	戸籍住民課
38	P108	7市民に寄り添う市役所	③健全な財政運営	人口減少により税収減が見込まれるが、ふるさと納税など税収以外の歳入確保について記載すべきではないか。	ご指摘のとおり人口減少は喫緊の課題となっています。本市では、以前から公平な税の賦課と徴収、国県の補助金を有効に活用した事業構築については留意を行っているところですが、近年では、ふるさと納税以外にも市施設のネーミングライツ、市HPや封筒への広告掲載、クラウドファンディングなど歳入確保に様々な取組を行っております。今後も引き続きこうした新たな歳入確保に努めてまいります。それらはあくまで補完的な財源でございますため、主な取組には記載をしておりません。	経営企画課 財務課